

# 平成 29 年度大島地区道徳教育研修会

道徳教育の基本的な指導の在り方及び指導上の課題について、授業実践を通じた研修を行い、道徳教育の一層の充実に資することをねらいとし、大島地区では「子どもたちが考え、議論する道徳の授業づくり」というテーマを基に、よりよい授業を目指しています。

○対象：大島地区小中学校道徳主任又は係

○期日：【喜界中】5月30日（火），【茶花小】6月13日（火）

— 主に次のような工夫が見られました —

## <与論町立茶花小学校>

- 友達の考えと比較させゆさぶりをかける発問の工夫
  - 互いの考えを交流させる「ムヌガッタイム」の効果的な活用
- ※ 「ムヌガッタイム」…「語り合う」という意味の与論の方言「ムヌガッタイ」に「タイム」を合わせた茶花小オリジナル造語で、互いの考えを交流する活動。国語を中心に、道徳などでも設定しています。

## <喜界町立喜界中学校>

- 話合いの仕方のカードや家族の声を生かした「道徳ノート」の活用
- 友達の考えを生かすための効果的なグループ編成



グループで一つの解決策を見出す



席を離れ、様々な考え方に触れる

## — 学びの声（一部抜粋） —

- 「生徒が考えをもち、自分の言葉でしっかりと話していました。」
- 「全校で取り組むムヌガッタイムは大変参考になりました。」
- 「グループによる話合い活動では、生徒が主体的に役割分担（司会、記録等）をし、活発な意見交換を行っていました。」
- 「教師が子どもの考えをもっと切り返したり、認めたりする発問を見出す必要があると思いました。」